

一般社団法人日本マスターズ水泳協会

平成24年度事業報告書

(平成24年4月～平成25年3月)

1. 事業の状況

(1) 競技規則の制定 (定款第4条 第1項 (1))

国際競技規則の変更に伴う国内競技規則の改定・通知を実施した。

(2) 普及促進、指導者の養成 (同 第1項 (1))

マスターズ水泳の指導者・競技役員およびスイマーのための講習会を東京・愛知・大阪の3会場において開催した。

(3) 競技会の開催 (同 第1項 (2))

① 日本マスターズ水泳短水路大会

4月1日より5月27日までの期間、全国24会場にて開催し、25,337人が46,635種目に参加した。

② 日本マスターズ水泳選手権大会 (ジャパンマスターズ2012)

7月13日より16日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。6,043人の参加者が、延べ11,128種目に参加した。

③ ウーマンズ・マスターズ水泳競技大会 (ウーマンズ・スイム・フェスティバル2012)

10月6日より7日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。18才以上の女性を対象としたスイミングフェスティバル (競技会) で、競技 646チーム 2,922人、イベント744人の参加であった。

④ 日本マスターズ水泳長距離大会

11月3日より11月4日の期間、東京・町田市立室内プール、ならびに11月11日、愛知・口論義運動公園屋内プールにて開催した。東京会場 626人、愛知会場 241人、の参加があった。

(4) 地域大会の奨励指導 (同 第1項 (2))

当協会でご承認するマスターズ大会のうち、年間8会場へ大会運営の指導を行った。

(5) 競技会及び記録の公認 (同 第1項 (3))

国内年間88大会、海外3大会の記録を公認した。

また、大会での記録140,169件を公認記録として認めた。

(6) 国際大会の開催 (同 第1項 (4))

本年の開催はなかった。

(7) 日本記録の公認及び世界記録の公認申請 (同 第1項 (5))

公認した記録のうち、世界記録を突破した記録83件、日本新記録樹立611件であった。世界記録を突破した記録は公益財団法人日本水泳連盟を通じ国際水泳連

盟（F I N A）に公認申請を行った。

(8) 機関紙および刊行物（同 第1項（6））

マスタースニュース（会報）を年4回発行し、登録チームならびに関係団体へ配布した。また、年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。

(9) 国内外の水泳関係団体との連携協力（同 第1項（7））

①国外公認大会への参加者に対する日本のマスタース水泳の登録者であることの登録証明書178枚を発行した。

②公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。

③一般社団法人日本スイミングクラブ協会主催マスタース大会の公認ならびに協力を行った。

(10) 登録（同 第1項（8））

本年度登録2,872チーム、個人登録47,266人であった。

(11) その他（同 第1項（8））

公益法人制度改革に伴う手続きの経過

| | |
|-----------------|--------------|
| 一般社団法人へ移行 | 平成24年4月 1日 |
| 旧法人決算 | 平成24年3月31日 |
| 公益目的財産額の確定 | 平成24年6月28日 |
| 公益目的財産額（当初） | 327,906,055円 |
| 平成24年度公益目的支出実施額 | 59,354,021円 |
| 平成24年度末公益目的財産額 | 268,552,034円 |

以上